

# 生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発調査事業（抄録）

## アマモ類の遺伝的多様性の解析調査

棚田教生

本調査は、水産庁委託「生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発調査事業」のうち、（独）水産総合研究センターが受託した「アマモ類の遺伝的多様性の解析調査」の一部であり、本県では、アマモ類の分布を把握するための種組成調査およびアマモの遺伝子解析のための集団サンプリング調査を実施した。事業の目的および成果の詳細については、「水産庁委託 生物多様性に配慮したアマモ場造成技術開発調査事業 アマモ類の遺伝的多様性の解析調査平成17年度報告書」を参照されたい。

### 成果の概要

#### 種組成調査

県下のアマモ類の分布を調査した。また標本採取場所ごとに、緯度経度、水深等の環境測定を行った。

17年度は県内22箇所（鳴門市折野、櫛木、日出、高島、堂浦、徳島市津田、小松島市横須、赤石、和田の鼻、那賀川町中島、阿南市答島、後戸、椿泊、伊島、由岐町志和岐、由岐、牟岐町古牟岐、牟岐大島、海南町浅川、宍喰町サビ島、竹ヶ島、金目）で調査を実施した。

折野、櫛木、日出、高島、津田、横須、赤石、和田の鼻、中島、答島、後戸、椿泊、伊島、志和岐、由岐、古牟岐、牟岐大島、浅川、サビ島、竹ヶ島、金目からアマモを、日出、堂浦、津田、赤石、答島、浅川、金目からコアモモを、折野、日出、堂浦、椿泊、伊島、志和岐、由岐、牟岐大島、浅川、竹ヶ島、金目からウミヒルモをそれぞれ採集した。1ha以上の広大なアマモ場は、日出、高島、中島、答島、由岐、金目で確認された。

#### 集団サンプリング調査

小松島市横須、牟岐町牟岐大島のアマモ場からアマモ30株をそれぞれ採取し、草体の一部を凍結保存（遺伝子解析用標本）するとともに、凍結標本を採取した株の残りから押し葉標本を作成した。また調査地の緯度経度、水深等の環境測定を行った。なお凍結標本は分析機関に送付した。

#### 次年度の計画

アマモ、コアモモ、ウミヒルモについて、種組成調査を継続実施する。県下全体で、過去に生育が確認されているが、過去2年間に未調査の地点を網羅的に調査するとともに、新たな海草藻場の発見にも努める。